

2022年  
Vol 7

発行/編集

福祉生活協同組合むぎのめ

社会福祉法人 麦の芽福祉会

(有)協同スペース未来

〈事務局〉〒892-0806

鹿児島市池之上町6番21号

TEL:099-248-8010 FAX:099-248-7272

むぎのめ40周年! 福祉生協むぎのめ・麦の芽福祉会・協同スペース未来の2022年

## 地域と共に暮らす、地域と共に働く

## ～ささえあい、たすけあい、人と人がつながる地域社会に～

麦の芽福祉会の生活介護・就労継続支援B型事業所「虹のセンター」(鹿児島市吉野1丁目)では、近隣地域のおひとり様の高齢者、障害者のみなさんにお正月を華やかに迎えていただくこと、無料で「おひとり様おせち」を届けています。今回で2年目、2021年12月29日に近隣地域(鹿児島市下田町)の民生委員を通じて、独居高齢者ら12名に届けられ、「いい正月を迎えられます」とよろこんで受け取っていただきました。

一方、冬物販でも「おひとり様おせち」(料理15種+赤飯を1セット2000円で販売。計110食を虹のセンターでつくりました。写真は、おせちの最終仕上げの様子です。手づくりのエビ煮物、昆布巻き、煮しめ、酢ゴボウなど、スタッフ10名が手際よく盛り付け、就労継続支援B型のなかまAくんが真空パック詰め作業を行っています。おせちも、赤飯も真空パックをしているので、日持ちも良く常温で保存できます。サービス付き高齢者住宅「ついまでおつとめのあるホーム」では、元旦の夕食に、「おひとり様おせち」をいただきながら新年を迎えました。

2022年も高齢者、障害者が安心して生きられる、その人らしく老いることができる支援として、「おせち実践」の継続はもちろん、さらにひとり一人がその人らしく生きられる実践を模索し推し進めていきます。地域の一員として、地域共生、地域協働しながら、人間らしく、ゆたかな地域社会をめざして。



短時間で一斉に、息の合ったおせちの盛りつけ



ずれないように集中して、見栄えが決まる真空パック

# 2022年もよろしくお願ひします

## 新年を迎えて



今年も丈夫で元気で、  
むぎのめの仕事、  
カウンセリングの仕事をし  
っかりやりたいです

福祉生協むぎのめ  
理事長 清原 浩

明けまして、おめでとございませう。

20世紀は戦争の世紀(第1次、第2次世界大戦、日中戦争、太平洋戦争など)と言われていま

す。21世紀に突入して22年になります。21世紀は、戦争のない明るい世紀を期待していたのですが、まったく違っています。イラク戦争、アフガニスタン戦争などなど、地域戦争はずっと続いています。

さらに、経済の世界的な一体化、また規制解除の新自由主義化の中、利益も貧困も世界規模で莫大な差を生みだし、一見、豊かにも見えるこの社会の中に、貧困にあえぐ人が増えています。

そして、貧困さに輪をかけているが新型コロナウイルスの蔓延です。仕事がない、という状況に追い込まれている人々が生死の淵に立たされています。

こうした状況を反映して地球そのものの持続が危ぶまれている現在です。

福祉生協はまさに生まれるべくして生まれたと言えるでしょう。上に掲げたような状況を跳ね返していく潜在的な力を持っているからです。

いま、福祉生協が取り組んでいる障害者医療、安心安全な食材を提供する物産館、高齢者の方々が安心して暮らせる終の棲家、よりよい生活要求の基礎となるさまざまな小集団活動(コミュニケーション)が一層発展する年が2022年です。ともに、「頑張りますよ」

## 新年のご挨拶



本を読む、散歩する、花に出会うなど、  
"一日に一つ新しいことを行なうこと"  
が今年の抱負です

社会福祉法人麦の芽福祉会  
理事長 内田 芳夫

明けましておめでとございませう。

新しい年を迎え皆様のご健康とお多幸を心よりお祈り申し上げます。コロナ禍になって、間もなく2年が経過しようとしています。この間、種々の制約と緊張が強いられる日常でありました。新たな変異株オミクロン株から市中感染も懸念されており、引き続き油断しないで日常を過ごす必要があります。

総選挙後、憲法改悪の動きと社会保障の後退が一層、進行する危険性が高まっています。

憲法に基づく政治、科学的コロナ対策、格差と貧困の是正、地球環境を守るエネルギー転換、ジェンダー視点に基づく自由で公平な社会

権力私物化を許さない等(野党共闘の共通政策)の豊かな内容を日常的にどう構築していくかが私たちに求められています。

社会福祉法人麦の芽福祉会は、今年も「命を守り、仕事をおこし、地域をつくり、文化を高め、人を育てる」という福祉の根源にさかのぼった思想に貫かれた多岐にわたる諸活動・諸事業を進めている「福祉生活協同組合むぎのめ」と連帯社会保障社会福祉を守り発展させていきます。

2022年の干支は「壬寅(みずのえとら)で、「冬が厳しいほど春の息吹は生命力があふれ、すばらしい成果が生まれる年」とのことです。何事にも好奇心をもって、ポジティブに挑戦し希望にあふれる年になりますように祈念して新年のご挨拶いたします。

# 自分らしくいられる、わたしたちらしくできる、余暇活動

## 「Can★キャンって何？」

### 実践の力

①名前の由来と名前を付けた(人)は？

有償移送事業の「らんらん」のような親しみやすい言葉を考えて、キャンキャンの最初のキャンを英語にして、can↓「余暇活動ができる」「自分らしくできる」「わたしたちでもできる」という意味合いがあり、それに★マークを入れて、「希望と願い」を取り入れました。

②Can★キャンのはじまり・きっかけ(構想・発想)

何年にもわたって、なかまと理事の協議で議題にあがっていた「土日の外出の移動手段の拡充を」というなかまの願いを実現できる事業を作りたいとの想いから、熊本県高齢者障害者福祉生活協同組合の小出さんと数回学習会を重ね、それなら私たちでも出来ると思い、土日を中心として余暇活動からスタートする運びとなりました。

③Can★キャンの活動とは？

なかまの願いアンケートや日常で聞えてくるなかまの願いを元に、活動を企画・運営しています。

主に外出余暇活動となっており、新型コロナウイルスの感染状況や外出先の感染対策等を確認しながら実施しています。小人数の活動でありながら、事業所を飛び越えた活動である事から、むぎのめ内部の様々な事業所からの参加となっており、なかまやスタッフの非日常的交流の場ともなっています。

④10月のイベント

「新田神社」「農園ガーデン空」「みかん狩り」「鹿屋バラ園」に行きました！  
運転手・ヘルパー・ボランティアの協力者を集っています！  
体制が足りない、受給量が足りない事で諦めるのではなく、一人のなかまの願いを、どうしたら実現できるのかを、日々模索しながら実施してきました。

今の現行制度は、「キツイ」「苦しい」「つまらない」の方向に向かわせようとしています。だからこそ私たちは、本来の福祉の方向である「嬉しい」「楽しい」「面白い」活動までの取り組みや活動を実施して、むぎのめらしき、福祉の面白さ、協同の喜びにより、現行制度に抗っていきたいと思っています。



「みかん狩り」



「志布志コスモスロード」



「阿久根農園ガーデン」

### 小さなきょうしゅうの力

### 渡りをする蝶 アサギマダラとフジバカマ

ひとむぎ診療所 斎藤 裕

下田の人たち(飯屋さん、中村さん等)との出会いと下田地区の歴史(縄文時代から栄えていたこと等)を知り私の個人的な希望・夢も叶えるために昨年7月からコミュニケーション(共同体の実行委員会を開始し名称を「下田つながりロマン街道」としました。

下田の地域の人たちとむぎのめの人たち、動物・植物・自然とのつながり、歴史を大切にし、ロマン(夢や希望)を実現してゆく会・組織です。希望すれば誰でも参加できます。

ロマン実現第一段として蝶のアサギマダラを下田に来てもらうために好物のフジバカマを植栽することにしました。アサギマダラはやや大型の蝶で浅葱色(薄い藍色)をしている美しい蝶です。フジバカマには毒がありその毒をアサギマダラは摂り込んで外敵から守っているのです。

約40年くらい前に渡りをすることが判明し、その距離は2500kmとの記録があります。

途中に海や山があるその長距離をなぜ旅するのか?目的地まで何を目安に飛ぶのか?春には南から北へ、秋には北から南へ飛ぶ、その途中の鹿児島の下田に立ち寄ってもらうべく、せきよしの物産館の傍に昨年9月26日、なかまたちと植栽しました。新聞に載ったこともあり問い合わせや寄付がありました。

(写1) 前年に植えたフジバカマにアサギマダラが飛来してきた



(写2) 渡りの謎を解明する「マーキング調査」

今年の10月初め、1年前に植えたフジバカマに「アサギマダラがやってきたよ」と中野さんから連絡がありました。多い時は50頭(蝶は1頭、2頭と数えます)くらいになりました。閑吉に来た蝶がどこを経由するのか知りたくて、蝶に確保した日、場所をマジックで書いて放すマーキングをしました。(写2)この蝶が旅した先で誰かが見つけてくれることを願って。アサギマダラは11月初め頃まで来ていますが、寒くなりフジバカマの花が盛りを過ぎると来なくなりました。来年また来てくれることを祈りましょう。

# 「平和を感じたいから自然の中で、地域の人とたのしさを分かち合いたいから みんなフェスタ&土よう市」

フェスタ&土よう市」が開催されました。麦のみんなフェスタ」でしたが2020年はコロナを掲載しての開催となりました。

生していく上でも形を変え、活動は小集地域の自然を活かし各所に点在しての移動にした「土よう市」も合体してのフェスタなど、小集団グループで参加し、点在食堂で昼食をとるなど、ぶらぶらと町中真ん中に設えたステージでJAZZライブ、行われました。

### 【みんなみんなフェスタ&土よう市2021 プログラム】(一部紹介)

- 「アートを探そう!!ウォークラリー」・・・物産館でプレゼントGET!
- 「ポタジェファムの小径」(女性農業者のお店)・・・お茶、ピクルス、からあげ、トカラ列島加工品
- 「ワクワクの小径」・・・アジア雑貨、パン、手作り品、バザー用品、リサイクル用品
- 「どうぶつ村」・・・トカラヤギ(マルちゃん・ハナちゃん)、ウズラ、アイガモ
- 「花の寄せ植えコーナー」
- 「社労士による無料相談」・・・福祉、年金、相続問題などの相談
- 「せきよしの物産館」・・・さつまいもフェア、国産はちみつなど
- 「稲音館」・・・ランチ、手作り作品展
- ステージ・・・「田んぼの中でカラオケ」「ソーラン節」「JAZZライブ」



「フェスタ」は、10月に大会場での開催を予定しています。  
今年記念の年に開催する「みんなみんなフェスタ」は  
が発信される場となるのでしょうか。乞うご期待!



ウォークラリーで探せ!  
東福さんの絵は、どこにある?



ヤギのまる君  
いつもと違う賑やかさは何?!



国産はちみつの試食も  
あり大人気!!



田んぼ道でのマルシェ  
ゆったりとした場所で  
会話ははずむ



田んぼの中のお守り♥



なかまの夢工房のパン 完売!



夜空のJAZZライブに  
酔いしれて、冬の花火に大歓声!



みんな歩け!歩け!  
世界遺産めざして!!

# コロナ禍だからいつもの小集団で “みんな”

2021年11月27日(土) 晴れ渡る青空の下、「みんなみんなフェス」  
芽福祉会・福祉生協むぎのめが主催する、毎年恒例の「みんなみんなフェス」  
禍のため会場開催が中止になり、麦の芽福祉会HPにリレー動画

2021年もコロナ禍ではありましたが、新型コロナウイルスと共  
団で、開催場所は、町内会や地元店舗などのご協力をいただき、  
エスタ開催となりました。毎月実施している資源回収を中心の活  
々は老若男女、乳幼児から高齢期までの各事業所、あるいはホ  
した催事会場で、各々たのしんでいました。地域にある商店街の  
を散歩するグループの姿もありました。夜6時になると、田んぼの  
カウントダウンを合図に冬の夜空を彩る約300発の花火が打ち上



## 2022年の「みんなみんなフェス」 むぎのめ40周年とい どのようなメッセージ



あ、何かいる？  
川の中に…



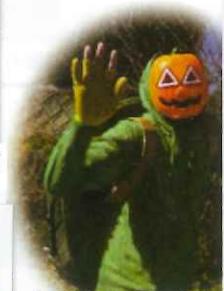
田んぼ道でのバザーって初めて  
気持ちがいね(^^)



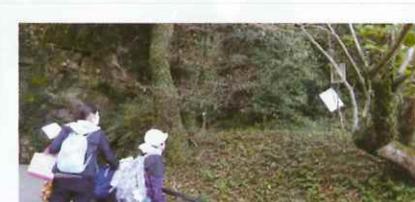
田園の中でおどる  
ワークブラザのなかまたち(^^)



田んぼがステージ♪ カラオケ大々好評!!  
どこまで届く?ぼくの歌声♪



むぎのめマン参上  
元気が出るヨ(^^)



ウォークラリー  
みつけた!東福さんのすてきな絵( \*^^ )v

### ついまで おつとめを 愉しむ

### 戦争体験を語る／溝口定雄さん

「今、なぜ戦争を語るのか(太平洋戦争開戦80周年)」むぎのめ平和学校より

2021年12月6日、麦の芽福祉会3委員会(学びの共同センター・未来委員会・RS委員会)共催で、今年度3回目のむぎのめ平和学校がリモート開催されました。12月8日の太平洋戦争開戦80周年を記して企画。開戦当時小学校2年生だった溝口定雄さん(88)に戦争体験を語っていただきま

した。  
溝口さんは麦の芽福祉会のサービ

を覚えていて「など、戦争体験の迫力はさながら、溝口さんが第二次世界大戦について、戦前戦後の実態を含め詳しく調べ上げていることに驚かされました。

「ある日(1941年12月8日)突然ラジオ放送がザツという雑音に

事前取材に伺ったときに「戦争をとるか、平和をとるか、日本は歧路に立たされています。あなたはどちらを選



みぞくち さだお(88歳)  
昔の夢「昔の事より今からの事を語ろうか。その方が良からう」  
今の夢「毎朝、新聞やテレビに目を通すこと。それを文章にまとめて時事問題や将来の日本について考えること」

### 2022年2月・3月の委員会活動

#### 社会参画と運動

#### RS委員会

きょうされん第45回国会請願署名・募金運動全国キャンペーン スター取り組み期間…2021年12月～2022年4月  
要望項目  
1、「コロナ禍でも、障害のある人に安心した暮らしを」  
2、障害所総合支援法を、障害のある人が安心して働き、暮らせる制度に  
3、職員が働き続けられるように  
4、優生保護法被害者の尊厳を回復する法律を内容は別添署名用紙に掲載。署名活動を通して広く世論に実態を伝え国の予算の大幅増額と施策の改善を求めていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### きょうとうと広報

#### 未来委員会

地域の困りごとをみんなで分かち合い誰もが自分らしく人間らしく生きられ安心して暮らせるまちづくりを目指して今年も様々な事業活動に取り組んでいきます。  
2月12日(土) 吉野温泉「温泉マルシェ」  
2月26日(土) 「毎月第4土よう市」  
3月12日(土) 吉野温泉「温泉マルシェ」  
3月26日(土) 「毎月第4土よう市」

#### 学びと研究

#### 学びの共同センター

2月9日(水)17時半～「学びの共同委員会」  
3月9日(水)17時半～「学びの共同委員会」

# 仲間たちの つながり通信



「よう来てくいやいもいた」  
上甌島の玄関口“里港”のターミナル清掃



地元商店の自社商品に  
1つ1つていねいにラベル張り

☆決まった作業以外にも地域の  
方々の困ってる事、ちよつと手伝っ  
てもらいたいこと等の声にも自分  
たちのできる範囲で伺わせても  
らっています。

◎上甌支所よりの委託清掃作業  
上甌地区にある薩摩川内市管理  
の3施設の清掃作業。

共同作業所トンボロの風は、  
2015年7月1日に甌島の里町  
に開所した地域活動支援センター  
で、甌島で生まれ育った障害がある  
なかまたちが日中仕事をする場所  
です。  
現在は4名と少ないですが日々楽  
しく生活しています。  
令和2年8月29日に甌大橋が  
開通これにより中甌島と下甌島が  
陸路で繋がり甌島がひとつに結ば  
れました。今は上甌島の方のみで  
活動していますが、橋が繋がった事  
で下甌島の方も一緒に活動できる  
ようになります。  
今後はたらく場所のなかった甌  
島のなかまたちの居場所として、  
地域の皆様に協力、見守って頂きな  
がら活動していこうと思っていま  
す。

## 鹿児島市薩摩川内市上甌 共同作業所トンボロの風

共同作業所トンボロの風は、

◎活動内容  
◎里港ターミナル清掃

開所した当初から薩摩川内市観  
光協会からいただいている港の清  
掃作業です。月曜日・金曜日まで  
毎日1時間甌島の玄関をキレイに  
しています。

◎個人宅清掃及び草取り草刈り等  
作業

初めは支所や社協の方よりひと  
り暮らしの個人宅の清掃の依頼  
を受けていたのですが、口コミで  
の依頼もあり  
毎月数件のお仕事につながって  
います。

◎地元商店の荷下ろし、ラベル張  
り

本土より仕入れてきた生鮮食品  
や日用品等のトラックからの荷  
下ろし、地元商店の自社商品の  
ラベル張り。

## 鹿児島市吉野町

## NPO法人 愛らんどマルシェ



話題の“酵素の王様”青パパイヤを販売中

NPO法人愛らんどマルシェは、  
鹿児島市吉野町にあります。代表・  
久保田の「せきよしの物産館」及び  
「吉野温泉」勤務の経験を活かしな  
がら、事務局メンバーやボランティア  
の方々と協力して、次のような  
活動を精力的に行っています。  
①WEBショップや近くの郵便局  
(鹿児島吉野郵便局)で鹿児島の農  
作物や特産品を販売。  
②地元企業や個人事業主のホーム  
ページ制作やチラシ・パンフレッ  
ト等の印刷物制作。  
③甲突川河原の清掃や早馬バス停  
の花壇作り等のボランティア活動。  
例えば今年、湧水町のお米の  
販売、種子島のタンカンや青パ  
パイアの販売、他NPOの紹介動画  
や名刺作り、助成金を活用したイ  
ベントチラシ作りなど——鹿児島  
の色んな企業、NPOや個人と協  
力しながら活動の幅を少しずつ広  
げています。



地元バス停の花壇に花植えのボランティア活動

(お米の販売やチラシ・WEB制作  
などの詳細は、当団体のホーム  
ページをご覧ください)  
当団体では、地域のNPOや企  
業と連携をしながら、鹿児島をもっ  
ともっと元気にしていきたいと考  
えています。  
イベントへの出張、印刷物やホー  
ムページ制作、動画や写真の撮影  
や編集、農作物や特産品の販売協  
力など。ぜひ当団体に出来そうな  
ことがありましたら、お気軽にお  
声かけ下さい。  
「代表理事・久保田昭広&事務局」

### むぎのめ地域協働のお店

#### 吉野温泉

2月6日は名物ボンタン湯  
プカプカ浮かぶ大きな柑  
橘でじわ〜っとポカポカ温  
まろう

鹿児島県阿久根市特産のボ  
ンタンを湯船に浮かべて、  
沈めたり浮かべたり、柑橘  
の香りがさわやかなボンタ  
ン湯をおたのしみくださ  
い。

毎月第土曜日は「温泉マル  
シェー」(吉野温泉駐車場)  
2月12日のキッチンカー  
は、「たいやき」(からあげ)  
「フィッシュ&チップス、シ  
ュリンプ&チップス」



#### むぎのめレインボー

季節の味をおたのしみくだ  
さい。好評の「虹セン弁当」  
もグレードUP!

昨年好評だったお一人様おせ  
ちを今年も作り販売致しま  
した。高齢者や障害を持つ人  
たち、そして、地域の方々に  
利用して頂き、大変喜んでい  
ただきました。今年も、手作  
りのおいしいお弁当を準備  
いたします。せきよしの物産  
館で販売しています。なお、  
1月17日より新価格にな  
りましたのでご確認の上お  
気軽にご利用ください。お待  
ちしています。

〈鹿児島市吉野町1-41-6/TEL099-244-8039〉



〈弁当各種新価格〉

- 幕の内弁当 470円
- 唐揚げ弁当 350円
- ハンバーグ弁当 380円
- 牛焼肉弁当 380円
- 豚カツ弁当 380円
- 助六弁当 380円
- 塩麹とり天弁当 380円
- 塩麹鶏弁当 280円
- 塩麹焼そば弁当 280円
- 海苔弁当 320円
- 鶏のから揚げ4個 220円

#### せきよしの物産館

人気の焼き芋 食べくらべ！ さつまいも品種で味も  
食感もお好みどうぞ

せきよしの物産館イチオシ！ 3種の焼き芋はアツアツ  
も冷やしもGOOD

『紅はるか』はるかに美味しい！ねっとり“蜜芋”  
『シルクスイート』しっとりシルク(絹)のようななめらかな  
舌触り

『安納芋』ねっとり甘い濃厚な味わい。さつまいもの王様



〈鹿児島市下田町1874/TEL099-208-0510〉



### 明けましておめでとうございます



昨年もたくさんのご注文ありがとうございました!!

2022年もおはなやむぎのめふたごのきをよろしくお願ひ致します!!

たままスタッフ一同



“麦の芽福祉会”が運営する  
花屋です!!花束アレンジメント  
生花スタンド鉢物 寄せ植えなど  
ご注文承ります。気軽にお問い合わせ  
合わせ下さい。open 10:00~18:00  
定休日 火曜日tel 099-814-7233  
住所 東谷山2丁目35-22

Instagram muginome\_futagonoki

## ◇福祉生協むぎのめ◇

### 加入と増資のおすすめ

福祉生活協同組合では、自分たちがやりたいこと“組合員活動”をみんなで出資し参加し運営までも関わる事ができます。組合員が増えれば事業活動の拡充につながり、福祉生協全体が充実しより良い暮らしにまた一步近づいていくことになります。組合員になると、ひとむぎ診療所での健康診断やインフルエンザの予防接種などは組合員価格となります。また、福祉・健康でお困りのことがあれば遠慮なくご相談ください。(相談無料) ぜひご利用ください。

・2021.8～2021.12の動き

新規加入者	口数	出資金
51人	131口	131000
増資者	口数	出資金
327人	4316口	4316000
退会	口数	出資金
23人	1281口	1281000

2022.1月現在組合員総数 2278人、  
出資金総額 68373口、68373000円



陶芸への思い。

・うまくいった時は達成感!!そうでもない時もあるけどね。  
出来上がりを友人にプレゼントした時に喜んでもらえるのが一番の楽しみ。  
毎年、年が明けると来年の干支を作らなきゃ!と張り切っています。



目が見えなくなると何もすることがなかった中、陶芸をしないかと友人に誘われたのがきっかけで陶芸を始めました。干支を作るようになったのは、昔犬を飼っていたその犬を思い出しながら作ったのが干支でした。

たち しずこ八六歳

私は  
アーティリスト  
田淵 静子



## 便利の裏の危険・不自由

2021年は、私個人にとって大きな技術革新の年でした。何が革新されたかと言えば、まずガラクチをスマホに持ち替えたこと。そして、カーナビ付きの車に乗り始めたことでした。

アナログ人間を自認する私は、もともとスマホを持つとは思っていませんでした。そんな私がスマホを持つきっかけになったのは、妻の入院でした。膝の病気になる、手術して1カ月間入院することになりました。ところがあいにコロナ禍で、面会ができません。寂しがっていた妻に主治医があっさり言いました。「テレビ電話があるじゃない」。目からうろこでした。入院を前に夫婦そろってガラクチをスマホに替えたのです。

カーナビは、買い替え時期を迎えたマイカーを新車に替える際に、自動車会社の営業マンに勧められて、つい受け入れてしまいました。これまで、カーナビなんていらないと突っ張ってきた私でしたが、そろそろ潮時かな、意地を張るのもやめにしようかな、と考えたのです。

いざ持つて使ってみると、スマホもカーナビも、確かに便利な機械。想像以上に優れた機械でした。特にスマホの検索機能、カーナビの音声案内には、遅ればせながら、驚き感心しています。

とはいえ、とはいえ、優れたものにも問題がないわけではありません。案内の仕事で街を歩いていて、歩きスマホをする人たちにドキッとさせられることがよくあります。実際そんな人たちに追突されたこともあります。

カーナビにも限界があるようで、例えば、午前1時から車両進入禁止の天文館G3アーケードに進入しようとするレンタカーに時々出くわします。同アーケード内の「白熊むじやき」に行きたい県外客が、カーナビに従って近づいてくるのです。カーナビは、細かな交通規制までは案内しないのでしよう。

便利さの裏にある危険や不自由も思い知らされます。

(ポランテアまち案内人)

